

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	空知	学校名	滝川市立滝川第二小学校				校長名	高原直樹		
しめい氏名	いた板	もと本	りょう諒	職名	教諭	年齢	30歳	教職員経験年数	7年	
教育実践のタイトル	プログラミング教育及びICT活用による教育活動の指導充実に関する取組									
教育活動	<p>研究主任として、学校全体で行うプログラミング教育の充実に取り組み、各教科等における指導計画の改善に尽力するとともに、プログラミング教育を推進する中で、思考を具現化し、学びを深めることができる児童の育成を目指した創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、プログラミング的思考を育む授業実践において、1人1台端末を積極的に活用したり、思考ツールを活用した授業づくりを工夫したりするなど、授業改善に向けた取組は、他の模範となっており、管内のプログラミング教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症による臨時休業の際には、校内特別委員会のメンバーとして、授業動画を作成し、1人1台端末を活用した家庭でのオンライン授業の実施に向けた中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた創意工夫ある取組を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	<p>令和元年度 初任段階教員研修（道教委計画研修・1年次（小・中学校））講師</p> <p>令和元年度～令和3年度 北海道教育委員会プログラミング教育事業研究実践校公開研究会開催</p> <p>令和3年度 「高校生を対象とした教員養成セミナー」講師</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	後志	学校名	余市町立黒川小学校				校長名	明村秀之		
しめい氏名	いし石	さき崎	けい恵	こ子	職名	栄養教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	8年
教育実践のタイトル	児童の興味・関心を高める食育の指導充実に関する取組									
教育活動	<p>小学校の栄養教諭として、各学級における給食指導や栄養指導をはじめ、保護者への啓発や指導助言など、食に関する指導の充実に尽力している。</p> <p>特に、栄養教諭としての専門性を生かし、学級担任の授業づくりに積極的に関わり、食に関する指導に係る授業をチーム・ティーチングで行うとともに、保護者対象の給食試食会や出前授業を行い、発達の段階と必要な栄養素、好き嫌い改善のポイントや家庭でも作ってもらいたいメニューのレシピなどの指導助言を行うなど、学校だけではなく家庭での食育の充実に、積極的に取り組むことで児童の食への関心が高まっている。</p> <p>また、管内の研修センターにおいて、栄養教諭を対象にした食育の講座での講師や、後志教育研究会で家庭科の授業者を務めたりするなど、これまでの取組を広く発信し、その成果を普及しており、管内の食に関する指導の充実に大きく貢献している。</p>									
業績	<p>平成26～27年度 後志教育研修センター「食育講座」講師</p> <p>平成30年度 後志教育研究会技術家庭科研修会授業者</p> <p>平成30年度 天使大学で学生へ講義 テーマ「給食管理と食に関する指導」</p> <p>令和元～2年度 後志管内学校給食研究協議会栄養部会研修担当（副会長）</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	ホーツク	学校名	小清水町立小清水小学校				校長名	岡内知也		
しめい氏名	おお大	しま島	たく拓	み見	職名	教諭	年齢	27歳	教職員経験年数	5年
教育実践のタイトル	ICT活用をした授業改善に関する取組									
教育活動	<p>小学校教諭として、授業改善や職員研修に積極的に取り組み、ICTの効果的な活用や学習規律の徹底に向けた取組等、学力向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している</p> <p>特に、道徳教育推進教師として、初任段階教員への指導助言を日常的に行い、校内授業研究では、「考え、議論する道徳」の実現に向けた「多面的・多角的な思考」を重視する発問構成や、指導過程の工夫等について職員に提案するなど、本校の道徳教育充実に尽力している。また、前任校の網走市立白鳥台小学校は、北海道道徳教育推進校の指定校であり、複式学級における指導過程や発問の工夫に積極的に取り組み、各学年に応じた教科用図書を用いた異学年交流や、学習リーダーを活用した指導過程等を公開研究会において、管内外に発信している。この取組については、文部科学省ウェブページ道徳教育アーカイブに掲載されている。</p>									
業績	<p>平成30年度 「北海道道徳教育推進校事業網走市立白鳥台小学校公開研究会」の授業者（道徳科） 網走地方教育研修センター研究員（～令和元年）</p> <p>令和2年度 網走市立白鳥台小学校研修部長 「地域連携研修 網走市立白鳥台小学校公開研究会」の授業者（道徳科） オホーツク管内教育実践表彰若手教職員表彰受賞</p> <p>令和3年度 「北海道道徳教育推進会議」の参加者</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	ホーツク	学校名	紋別市立渚滑小学校				校長名	佐藤進也		
しめい氏名	みなみ南	たか貴	ひろ博	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル	校内研修の充実と人材育成に関する取組									
教育活動	<p>本校の教務主任として、学校の経営方針をよく理解し、教育課程編成・実施や校内研修の充実に大きく貢献している。</p> <p>特に、校内研修の充実については、重点教育目標や目指す子どもの姿とのつながりを考えた研修内容を構築するとともに、ミドルリーダーとして、授業づくりや学級経営、生徒指導についての指導・助言を行うなど、若手教職員の育成に尽力している。</p> <p>また、紋別市教育向上プロジェクトの学力向上部会委員として、市内の学力向上に寄与した。令和元年度に、北海道道徳教育推進会議の委員に推薦され、実践例の取りまとめや理論研修などを進めることで、管内の道徳教育の発展に寄与し、「自己の生き方についての考えを深める」道徳の授業の充実を図っていた。</p>									
業績	<p>令和元年度 「オホーツク管内国際理解教育研究大会」の授業者</p> <p>令和2年度 オホーツク管内教育実践表彰若手教職員表彰受賞</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	足寄町立足寄小学校				校長名	鈴木洋孝		
しめい 氏名	やす 安	だ 田	ひで 英	のり 憲	職名	教諭	年齢	37歳	教職員経験年数	9年
教育実践のタイトル	道徳教育及び国語科教育の指導充実に関する取組									
教育活動	<p>小学校教諭として、自校の、「特別の教科 道徳」において、全教職員による組織的な授業改善に取り組み、道徳教育の充実に尽力するとともに、道徳科の在り方について校内研修を推進する中で、児童の道徳性を養う創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、児童が道徳的価値を自分の問題として考えられるよう、主発問や授業展開における学習形態の工夫をするなど、「教材分析図」を用いた取組は、他の模範となっており、本道並びに管内の道徳教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、第75回北海道国語科教育研究大会で、「書くこと」に関する管内の取組を提言するなど、管内の国語科教育の中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	<p>平成24年度 帯広市教育研究会 国語部会研究授業 授業者</p> <p>平成25年度 帯広市立広陽小学校第三回公開授業研究会 授業者</p> <p>平成27年度～平成28年度 帯広市教育研究所所員</p> <p>令和元年度 足寄町教育研究大会 実践発表者</p> <p>令和2年度 第75回北海道国語科教育研究大会 十勝・帯広大会「書くこと」副部長</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	幕別町立忠類小学校				校長名	仲敏行		
しめい 氏名	なか 中	やま 山	ひょう 竜	た 太	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	9年
教育実践のタイトル	小学校での授業改善に関する取組									
教育活動	<p>小学校教諭として、自校の研修テーマである「自ら考え、主体的に取り組む子どもの育成」の具現化に向け、校内研修を牽引し、全教職員による組織的な授業改善の推進に尽力するとともに、日常的な授業実践において自ら「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、校内研修においては、1人1台端末を活用した授業実践の在り方について、自らが率先して講師となり、活用方法を全教職員と共有したり、低学年における1人1台端末の活用方法について研究を推進したりするなどの取組は他の模範となっており、本道並びに管内のICT教育の発展に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和元年度授業等改善講習会における器械運動部会で講師を務めるなど、児童が主体的に学ぶ保健体育科における指導の在り方及び資質・能力の育成に向けた授業改善について、豊富な経験に基づいた講座を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	<p>令和元年度 授業等改善講習会「器械運動部会」講師・ネットパトロール講習会講師</p> <p>令和3年度 幕別町教育振興会委員・幕別町教育研究所所員</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	幕別町立札内南小学校				校長名	高 充 慶		
しめい 氏名	かな 金	や 谷	とも 智	ひろ 皓	職名	教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	8年
教育実践のタイトル	ICTを活用した授業改善及びへき地教育に関する取組									
教育活動	<p>小学校教諭として、ICTを活用した児童の資質・能力の育成に焦点を当てた校内研修の推進に尽力するとともに、1人1台端末の効果的な活用に向けて、研修部員としてICTの日常的な実践の在り方について創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、校内研究においては、社会科の学習において、ICTを活用し、資料を効果的に提示するなど、情報活用能力を高めさせる取組を行ったり、1人1台端末の活用について、率先して授業を公開したりするなどの取組は他の模範となっており、管内のICT教育の発展に大きな成果を上げている。</p> <p>また、前任校においては、へき地複式校において、小規模校の強みを生かし、個に応じた資質・能力の育成に取り組み、実践を発表し、豊富な経験に基づいた実践を町内及び管内に発信するなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	平成30年度十勝管内へき地教育研究大会公開授業実践者									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	空知	学校名	岩見沢市立光陵中学校				校長名	宮 本 千 裕		
しめい 氏名	ふか 深	がわ 川	とも 智	ふみ 史	職名	教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	6年
教育実践のタイトル	道徳教育及び社会科教育の指導充実に関する取組									
教育活動	<p>道徳教育推進教師として、自校における道徳科の授業改善に尽力するとともに、道徳教育を推進する中で、ピア・サポートを土台とした望ましい人間関係づくりを生かした教育活動を展開している。</p> <p>特に、道徳科に関わる実践において、「考え、議論する道徳」を推進する中心的な役割を果たしたり、小学校で出前授業を行うなどの成果を道徳教育通信「三本の矢」の発行や実践動画の作成を通して授業改善に向けた情報として発信するなど、道徳科の改善・充実に向けた取組は他の規範となっており、管内の道徳教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、初任段階教員研修の講師として、社会科の授業を公開し、ICT端末の効果的な活用や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善等の充実へ寄与するとともに、これまでの実践に基づいて若手教員の授業力向上を図るなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	<p>令和2年度 初任段階教員研修（道教委計画研修・2年次（小・中学校））講師</p> <p>令和3年度 「第3回次世代リーダー育成研修」（中央研修）受講</p> <p>令和3年度 「高校生を対象とした教員養成セミナー」講師</p>									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	上川	学校名	下川町立下川中学校			校長名	藤 弘 のぞみ		
しめい氏名	つる鶴	た田	しょう翔	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	7年
教育実践のタイトル	国語科教育の指導充実に関する取組								
教育活動	<p>国語科教諭として、社会生活に必要な国語について深く研究し、生徒が国語を理解し適切に使い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、教科書の教材を基に、生徒の興味・関心に寄り添った新しい題材を取り上げるなど、魅力ある授業づくりに努めている。</p> <p>特に「話すこと・聞くこと」の領域においては、言葉がもつ価値を認識し、望ましい言語活動を通して生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する授業を展開している。本校の生徒は国語の授業が大好きであり、毎時間どのような課題で話し合い活動をするのかを楽しみにしている。</p> <p>また、研修担当として、年間を通じて国語科の学習指導案を全教職員に公開するとともに、下川町教育研究大会の授業者として広く授業を公開する等、校内にとどまらず、下川町内そして管内において楽しく学び、分かる授業づくりの手本になっている。</p>								
業績	<p>令和元年度 上川第6地区教科用図書採択教育委員会協議会「書写」 選定委員</p> <p>令和元年度 上川教育研究会北部地区研究大会 授業者</p> <p>令和3年度 第76回北海道国語教育研究大会「話すこと・聞くこと」部会 提言者</p> <p>令和3年度 下川町教育研究会研究大会 授業者</p>								

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	宗谷	学校名	浜頓別町立浜頓別中学校			校長名	細 谷 隆 志		
しめい氏名	はせがわ	と	む	職名	教諭	年齢	36歳	教職員経験年数	8年
教育実践のタイトル	授業スタイルの共通化と学力向上に関する取組								
教育活動	<p>研究部部長として「ともに学び合い、最後まで課題に向き合える生徒の育成」のテーマのもと各教科における主体的・対話的で深い学びの実現をめざした年60回の校内研究授業の推進や講演会へのオンライン参加も含め、道内の教育関係者約100名が参加した公開授業研究会の開催など研修活動の充実発展に寄与した。</p> <p>また、授業スタイルの共通化をめざした小中合同研修会において授業づくりの在り方について実践発表を行うなど学習面における小中連携の中心的役割を果たした。組織的な学力向上の取組を研究部長として運営・推進し、協働学習の理論・授業改善を校内で実践し、朝帯数学学習、放課後学習、異学年学習会などの取組を定着させた。</p> <p>宗谷教育局第2回組織力強化会議において、学力向上に向けた取組と対話的、協同的な授業に向けた校内研修の充実について実践発表を行い、管内の学力向上と校内研修の充実大きく貢献した。</p>								
業績	<p>令和3年度 浜頓別町立浜頓別中学校研究部部長</p> <p>令和3年度 宗谷教育局第2回組織力強化会議「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく検証改善サイクル」実践発表</p>								

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	後志	学校名	北海道蘭越高等学校				校長名	藤田博史		
しめい 氏名	ささ 笹	き 木	かつ 克	み 己	職名	教諭	年齢	26歳	教職員経験年数	3年
教育実践のタイトル	校種間の接続を踏まえた英語教育の指導充実にに関する取組									
教育活動	<p>英語教諭として、校内はもとより蘭越町全体の英語教育の充実に取り組み、令和元年度には、蘭越町外国語教育連携推進会議において、蘭越町CAN-DOリスト（領域別学習到達目標）の作成に尽力し、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和2年度には、リストの活用方法について検討し、その観点に基づいて町内中学校に乗り入れ指導を行った結果、生徒は高校生活に見通しをもつことで主体的に学ぶ力を身に付けたり、教員は他校種の授業を見合うことで系統を意識した授業改善を行ったりするなど、本道並びに管内の英語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、小・中・高等学校英語教育支援事業において、蘭越町立蘭越中学校への乗り入れ授業を複数回実施し、英語のディベート活動を授業に取り入れるなど、生徒の達成感を醸成させ、主体的に学ぶ力を育成させる授業を構築した。日常的にもパフォーマンステストを行い、指導と評価の一体化を図ることで、授業改善に努めるなど、英語教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>									
業績	令和2年度～令和3年度 小・中・高等学校英語教育支援事業担当教諭									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	オホーツク	学校名	北海道雄武高等学校				校長名	佐々木光明		
しめい 氏名	なが 長	の 野	しょう 翔	た 太	職名	教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	9年
教育実践のタイトル	数学教育の指導充実にに関する取組									
教育活動	<p>数学科教諭として、学力上位層から苦手な生徒まで幅広い学力層に対し、工夫した授業展開を心掛けた教科指導を実践している。</p> <p>また、教務進路指導部長として、ICTの活用により校内における指導と評価が一体化した取組に向け、精力的に公務運営に関わっている。</p> <p>特に、ICTを活用した授業改善や校務への取組も意欲的であり、授業での効果的な活用方法について、自身の取組を検証し、その成果や課題を学校全体で共有するとともに、若手教員の模範として、リーダーシップを持って指導・助言を行う等、授業力向上に尽力している。</p> <p>また、令和3年1月には、町長、町議会議員、教育委員会、中学校、PTAや地域住民などを対象に授業を公開したほか、管内の教務担当者研究協議会において、ICTを活用した実践例としてタブレットを活用した授業の研究発表を行うなど、管内のICT教育の推進に大きな成果を挙げている。</p>									
業績	令和3年度 オホーツク管内教務担当者研究協議会における実践発表									

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在

令和3年度北海道教育実践表彰被表彰者の概要（若手教職員等奨励賞）

管内	根室	学校名	北海道中標津高等学校				校長名	泉 田 正 弘	
しめい 氏名	い 伊	とう 藤	わたる 航	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	7年
教育実践のタイトル	地理歴史・公民科の指導充実に関する取組								
教育活動	<p>高等学校の地理歴史・公民科の教諭として、学習指導要領への深い理解と授業手法等に対する熱意ある研究により「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する授業及び教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業改善の視点として、生徒に育成したい資質・能力と学習課題とを有機的に結び付けるため「具体的な社会事象」を通して、生徒が学習課題を考える授業について研究と実践を重ね、その成果を各種研究会や北海道教育委員会主催事業における講師として発信することにより、管内はもとより、本道の地理歴史・公民科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、ICTを活用した教育活動の取組やKP法を用いたアクティブラーニングの取組など、柔軟な発想から生徒の学習意欲を喚起する洞察力や指導力に優れており、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成27年度 「北海道高等学校教育研究会地理歴史・公民部会（現代社会分科会）」研究発表</p> <p>令和元年度 「北海道高等学校教育研究会地理歴史・公民部会（政治・経済分科会）」研究発表</p> <p>令和2年度 北海道高等学校政治経済研究会「第45回記念大会研究紀要」寄稿</p> <p>令和2年度 北海道教育委員会「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業『授業改善セミナー』」提言者兼講師（政治・経済スペシャリスト）</p> <p>令和3年度 北海道教育委員会「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業『授業改善セミナー』」講師（政治・経済スペシャリスト）</p>								

※ 年齢は令和3年（2021年）4月1日現在